

主婦会 第六回定期総会終る

話合ひ、勉強へ

選挙戦と賃金闘争という二つの大きな闘いの中で開かれた第六回定期総会は、何となく闘う組織の総会にびつたりしたような雰囲気がある場内にあふれている。定刻十時方ツキり、開会の挨拶が行われ総会の幕を明けた。

会場正面にはライトに照らされた定期総会の横断幕がクツキリと浮かんでいる。河野会長の挨拶のちメッセージが各団体、組織から贈られた。

細谷大牟田市長より「輝かしい歴史を持つている皆さんたちの主権会が、今年こそきわめて立派な業績をあげられることを期待いたします。皆さんの歴史ある活動がこの総選挙にも十分に発揮されるものと思います。どうぞ今日の総会」と思っています。

が立派な成果をあげてことを望み
まして、挨拶といたします」と祝
辞があり、このあと田中稔男、浦
川守、宮川組合長、大地評山口会
長、土佐平倉衆日中争議之、吉岡

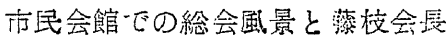
長 社名爵多田中兼勇子 重臣
連井会長、職組婦人会長、教組
婦人部長などから、それぞれ総会
を祝する祝辞が贈られた。

平和を守り抜こう

今年の行動方針としては四つの柱が挙げられ、この方針に向つて活動がつつめられて行くことに満場一致決定をみた。

(1)正しい主婦会員になるために
私たちの組織をますます大きくし
強くするためには、なるべく多く
の人の意見を反映させ、民主的に

適宜しなければなりません。あらゆる人が意見を出し合ひ、話の中から正しい結論を出して、おしつ
けぬを天下り式なことのないよう
にしなければ正しい発展はありません。
せん。またものごとを正しく見る



(4) 將來をなう子供を育てるために、保守政治に都合のいい教育方針に圖つて行き、このため教組、その他の民主団体、婦人団体と手を取り合い、解決のため努力して行きましよう。

大體以上の四つの項目を主眼とした、今年度の行動方針の上に立つて、明るい未来に向つて一歩一歩力強く前進することが誓ひ合われた予備會議。役員選出ののち、わたしたちの生活を破壊し、歴史の流れに逆行する政治に反対し、働くものの代表者一人でも多く議會に招くりますよ。」「軍国主義

議会に一人でも多く
新会長に就任した藤枝文子さん（
三川）は、つぎのように挨拶した
初就任致しましたが、就任しま
した以上組織人として精一杯頑
張りたいと思います。そして立

派な主婦会員となり、平和を守り、子供を教育させるために闘い抜く決心をしています。賛金闘争も会社は僅か四百円しか出していません。賛金闘争を勝ち抜くためには総選挙を闘い抜くことが大きな成果を収めるものと覚悟しています。そしてそれは豊かな生活、平和な生活にもつながります。

日中貿易の危機

一切の責任は岸政府に

おける中国国旗侮辱事件は岸政府 恣である」

が放任し、その保護の下に起つたものである。十日には四

一、米政府は日本をふくむ多くの国の政府を集めて中国に対するすでに要約

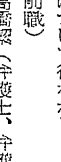
輸出禁止を履行したが、中国を日本商社に
伏できなかった。岸首相はいま飛報が入つて

五判事の審査
 名前の上に×印を

こんどの選挙といつしよに最高裁判所の国民審査が行われる。信任するかどうか、不信任の場合は名前の上に×印をつけるわけだが、衆議院選挙候補者たちがつて選挙風説もしないなら、どういふ人物が判らない。そこで全国司法労組に聞いてみた。

こんど審査されるのは前回の国民審査以後、新しく判事になつた五人について行われる。(カツコ内は前職)

▼高橋源(弁護士、弁護士推薦会)
 ▼垂水克巳(東京国会委員長)
 ▼河村大助(弁護士、法研修試験委員会臨時委員長)
 ▼奥野健一(参議院法制局長)
 ▼飯坂潤夫(大阪最高裁長官)

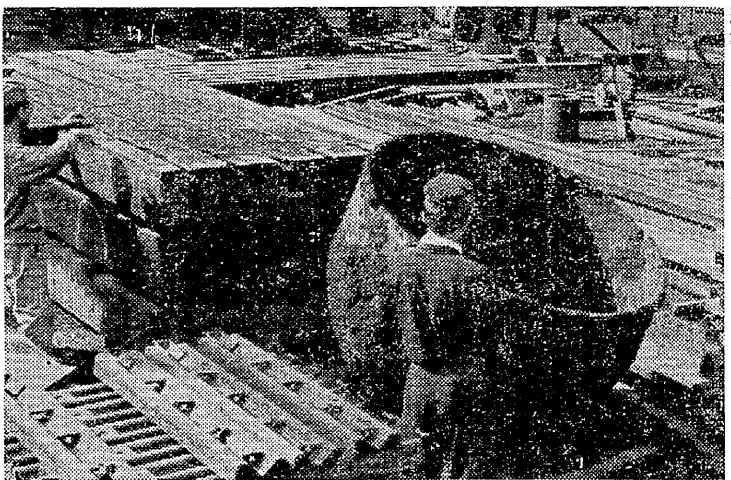


の査事審判五
の査事審判五

名前の上に×印を

非民主的な顔ぶれ

高藏 信任は名が、
強拳 人物に組に
高藏 こんど審査されるのは前回の國民
審査以後、新しく判事になつた五
氏について行われる。(カソコ内
は前職)
▽高橋源(弁護士、弁護士推協委
員会委員長)▽垂水克己(大坂高
裁長官)▽河村大助(弁護
法研修生考試委員会臨時委
員)奥野健一(參議院法制局長
飯坂潤夫(大坂高裁長官))



爆発で定盤吹上ぐ

製作で六名が重軽傷

去る五月九日、一日の作業にとりかかつたばかりの午前八時二十分ごろ、製作所第一製罐工場で突如として倒れた。

製罐工、30 は足腰が上つた瞬間後に倒れ後頭部を打撲意識不明となつて倒れた。

爆発事故が起り、六名の重傷者を出すという突発事故が発生したこの日朝のラジオ体操を終え、作業配属についたばかりで、突如何ものとも知れず爆発が起った。そのお爆発箇所は十年前火床用製鉄鍋（内面が鉛びき）を埋めたまま現在に至つており、その昨年十二月定盤三箇を設置している。とくに埋めた製鉄鍋の内部にコーク

の地点に定盤（長さ四米三十、幅一米四十、厚さ三十廻）置盤四トソンが敷いてあつたが、爆発のためその定盤二個が吹き上げられ、定盤は電氣塔の下のアースの間に充滿したものと考えられ、その間に電氣塔の下のアースの間に

船上にいたが、全く負傷したものの、
重傷を負った原田祝夫さん（総撰
工、38）は定盤三枚の縮き目に
たてその間に両足とも膝から下
の骨が骨折した。そのうち、
右の骨が骨折したところの骨が
で引火爆発したものだろうと推定
されている。なお原因については
科学的な調査にのりだしている。

をにさすれ右足の骨が折に左足に
挫創を負う重傷、平川光義さん（
九製鉄鍋）